



ジェンダー主流化委員会では、開かれた議論による課題の認知・共有を通じて、ジェンダー主流化の視点を養いながら、ジェンダー平等の実現を目指します。

## 📅 3月8日 国際女性デー

国際女性デーは、  
毎年3月8日に国連が定めた  
「女性の平等・参加・権利」を考える  
国際的な記念日です。

国際婦人年である1975年3月8日に国連で提唱され、1977年の国連総会で議決されました。3月8日に制定された由来は、1904年にアメリカニューヨークで女性労働者が夫人参政権を求めてデモを起こした日であることからです。

『国際女性デー』の制定以降、世界各国で毎年記念行事が実施されています。

国際女性デーは、未来をより良いものにしていくための“スタートライン”です。小さな一歩が、職場や社会を変えていきます。

これからも、生団連は皆さまと共に「誰もが活躍できる社会」づくりを進めてまいります。

※3月8日は、「ミモザの日」とも呼ばれ、黄色いミモザの花がシンボルとして親しまれています。

この機会に女性の健康やエンパワメント、  
ジェンダー平等について考えてみませんか？

## 🏢 企業の取組 アサヒビール株式会社 (持株会社アサヒグループホールディングス株式会社)



(会員企業)アサヒビール株式会社2024年12月末実績

### ■DE&Iへの考え方

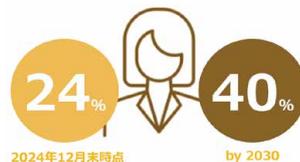
アサヒグループHDは、2030年までに経営層女性比率40%を目標に掲げ、制度改革と文化醸成を推進しています。取締役や執行役員への女性登用を加速し、人事評価をポテンシャル重視へ転換。女性管理職研修やキャリア開発プログラムを展開し、キャリアサポートも強化。男性育休の法定以上の取得を促す「産後パパ育休」等の両立支援制度を導入し、性別に関係なく活躍できる環境を整備。さらに、グローバルDE&IカOUNCILを設置し、地域横断で取り組みを加速し、社員一人ひとりが自分らしく働ける企業文化を醸成しています。

### ■DE&I推進機関(DE&I委員会)の設置

2022年、グローバルDE&IカOUNCILを設立し、各リージョン(地域)に委員会を配置。経営トップのコミットメントのもと、ジェンダーや国籍など多様性を尊重する体制を強化。国際女性デーイベントや経営層向け研修を実施し、グローバル全体で文化醸成を加速しています。

国内では、「DE&I委員会」を設置し、アサヒビールからは松山一雄社長に加え、女性初の工場長である川口美佳執行役員吹田統括工場長らが参加。女性が4割を占める委員会で、DE&Iの進捗をモニタリングし目標に向け着実な前進をしています。

ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョンの推進に関するKPI



2030年までに経営層※の女性比率を40%以上とする。

※ 役員および指導的地位にある一定階層以上